

第 1 回 共同利用及び放送ネットワークの維持・効率化等に関する 助成事業運営委員会 議事概要

■開催日時

2026 年9月3日(木) 14:00～15:30

■開催場所

一般財団法人 NHK 財団 用賀オフィス

■出席者

運営委員(敬称略)

- ・大槻知明(慶應義塾大学理工学部情報工学科教授)
- ・西土彰一郎(東北大学大学院法学研究科教授)
- ・船木夏子(有限責任監査法人トーマツ監査事業本部パブリックセクター・ヘルスケア事業部
シニアマネジャー・公認会計士)
- ・三木圭輔(株式会社 TBS テレビ メディアテクノロジー局技術戦略部リードマネージャー)
- ・内藤嘉紀(日本放送協会 経営企画局専任局長)

■議事概要

- 事務局より、第 1 回 共同利用及び放送ネットワークの維持・効率化等に関する助成事業運営委員会(以下、「運営委員会」という。)の開会が宣言された。
- 運営委員会の開催に当たり、NHK 財団理事長 田中宏暁より挨拶があった。
- 事務局より運営委員の紹介があった後、各運営委員、NHK 財団出席者及び事務局出席者の自己紹介があった。
- 事務局より、運営委員会における発言方法及び議事の承認方法について説明があった。
- 「共同利用及び放送ネットワークの維持・効率化等に関する助成事業運営委員会規程」第 8 条に基づき、大槻委員を委員長に選任した。
- 委員長選任後、議事進行を大槻委員長が行った。
- 事務局より、基金助成事業について以下の説明があった。
 - ・日本放送協会及び民間放送事業者による共同利用推進の状況
 - ・基金助成事業及び運営委員会の位置付け
 - ・審査フロー及び評価基準

その後、意見交換があった。主な内容は以下のとおりであった。

- 基金助成事業の審査対象となる案件の利害関係について
委員より、基金助成事業の審査対象となる案件の利害関係について質問があった。
事務局より、民放の系列局は利害関係には含まれない旨説明があった。一方、NHK が関係す

る全国の小規模中継局の案件の審査には NHK 推薦委員は加わることができないが、ミニサテライト局については J-BN からの申請となるため、NHK 推薦委員も審査に加わる旨、説明があった。

○助成対象案件数について

委員より、助成対象事業の申請時期と助成事業実施時期との関係について質問があった。
事務局より、原則として事業実施のおおむね 2 年前に申請を受け付けることとしている旨、説明があった。

○助成対象経費について

委員より、助成対象経費の範囲及び考え方について質問があった。
事務局より、実際の助成審査に合わせて説明する旨、説明があった。

○運営委員会の対象範囲について

委員より、運営委員会の対象範囲について質問があった。
事務局より、条件不利地域における小規模中継局の更新工事・共用化工事の事業および極微小電力中継局(ミニサテライト局)の更新工事の事業に加え、ブロードバンド等代替など新たな伝送技術の開発・導入促進事業も対象となる旨、説明があった。

○今後の運営委員会のスケジュールについて

事務局より、第 2 回、第 3 回運営委員会のスケジュール(案)について説明があった。また、今後の助成対象案件数の推移について説明があった。

以上をもって議事を終了し、閉会した。